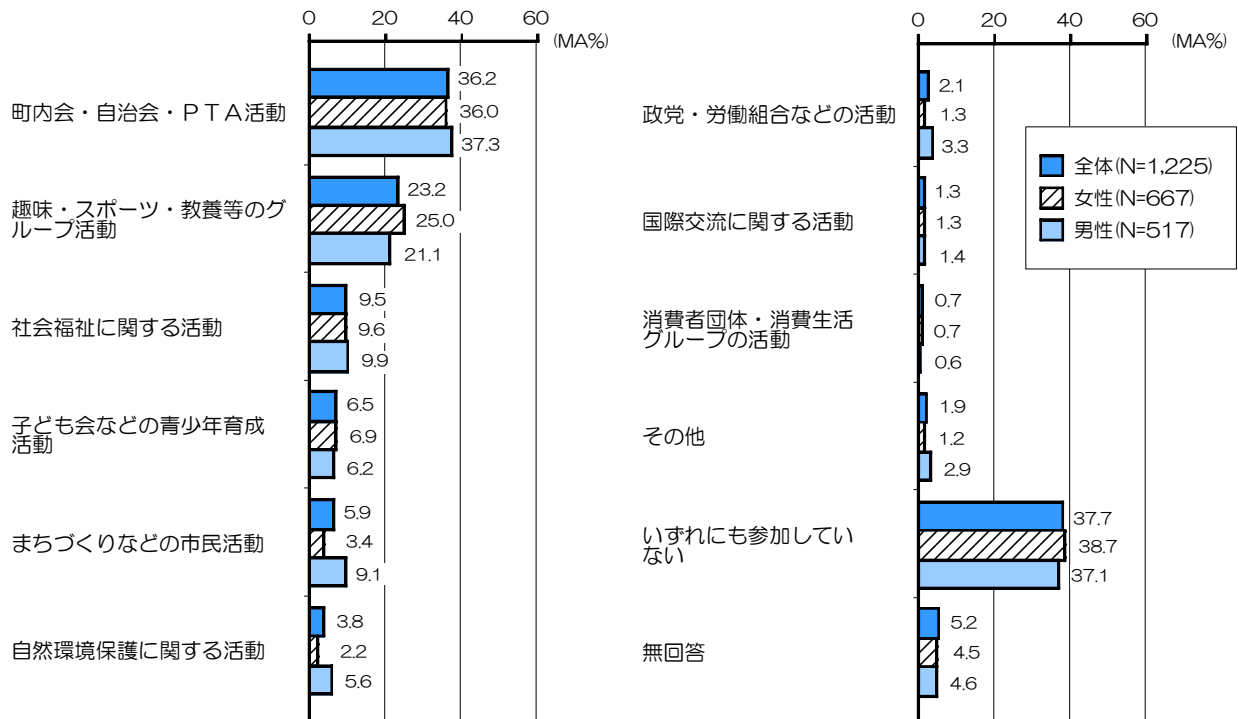


6 社会活動、地域活動について

6-1 現在参加している地域活動

問25 あなたが現在参加している地域活動をお答えください。(あてはまるもの全てに○印)

図6-1 現在参加している地域活動



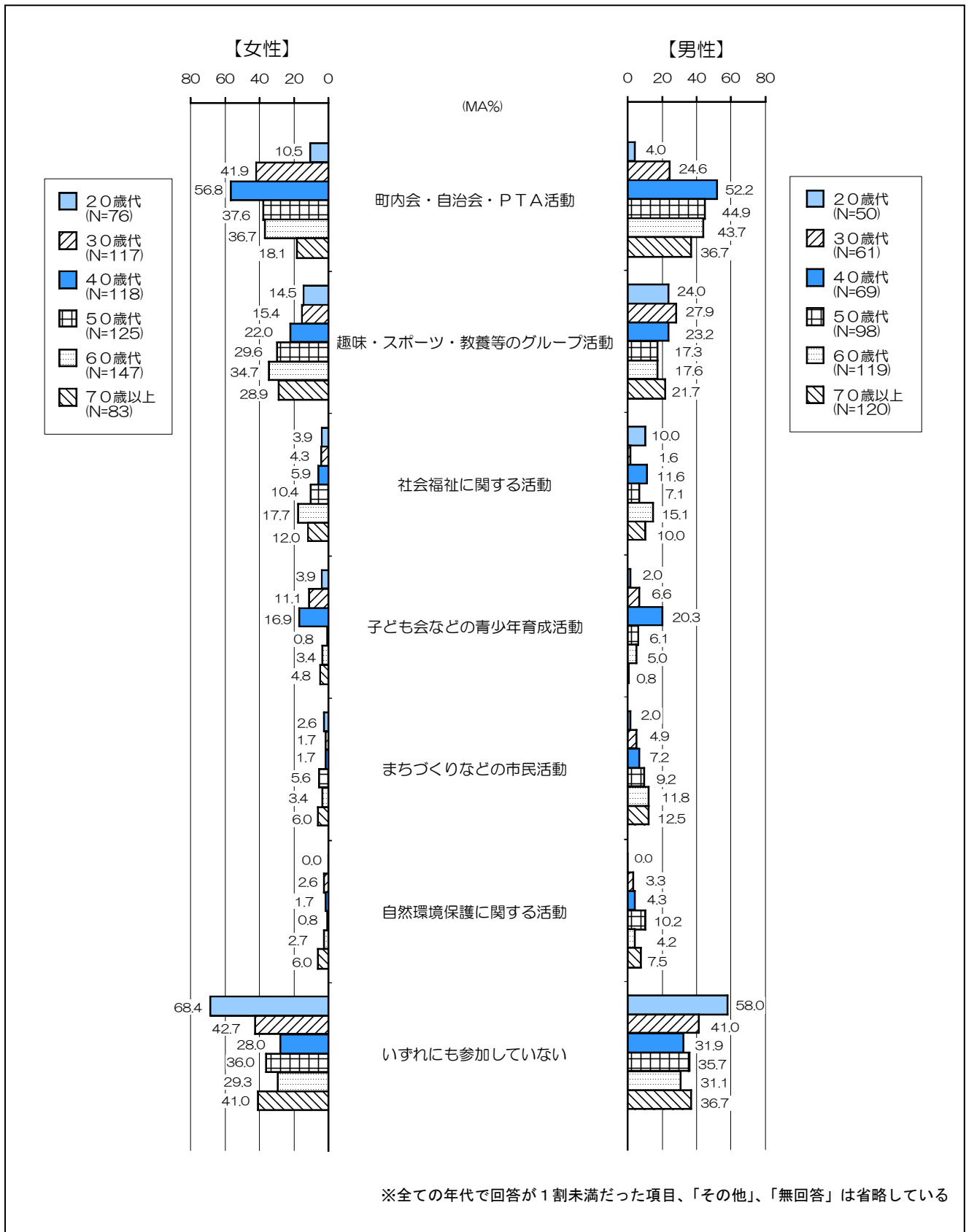
《ポイント》

- 地域活動への参加状況は「町内会・自治会・PTA活動」で3割以上、「趣味・スポーツ・教養等のグループ活動」で2割以上、その他の活動は1割未満となっている。
- 「趣味・スポーツ・教養等のグループ活動」は女性が、「まちづくりなどの市民活動」、「自然環境保護に関する活動」では、男性が参加している割合が高い。
- 「いずれにも参加していない」という人が、男女とも4割近くいる。

現在参加している地域活動について、全体では「町内会・自治会・PTA活動」が36.2%と最も高く、次いで、「趣味・スポーツ・教養等のグループ活動」が23.2%で、他の項目は1割未満となっている。

性別にみると、「趣味・スポーツ・教養等のグループ活動」で3.9ポイント女性が高くなっている。逆に、「町内会・自治会・PTA活動」で1.3ポイント、「まちづくりなどの市民活動」で5.7ポイント、「自然環境保護に関する活動」で3.4ポイント男性の方が高くなっているが、他の活動では男女間に大きな差は見られない。(図6-1)

図6-1-1 性年齢別 現在参加している地域活動



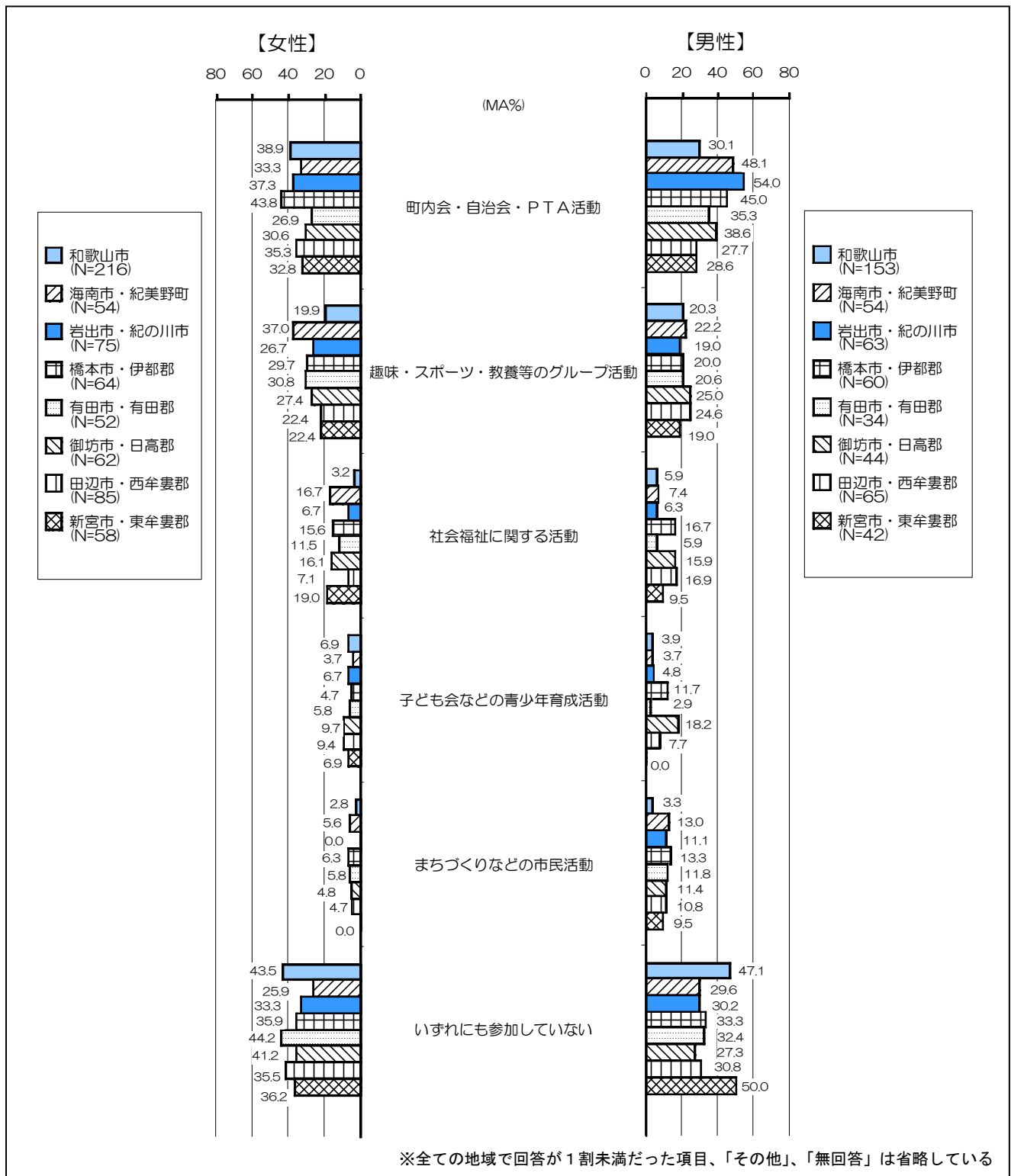
《ポイント》

- 「町内会・自治会・PTA活動」、「子ども会などの青少年育成活動」は、男女とも40歳代で参加の割合が最も高い。
- 「いずれにも参加していない」という人は、若年層になるほど割合が高い。

性年齢別にみると、男女とも「町内会・自治会・PTA活動」、「子ども会などの青少年育成活動」では40歳代が他の年代と比べ最も高く、「町内会・自治会・PTA活動」では半数以上となっている。「趣味・スポーツ・教養等のグループ活動」では女性は60歳代(34.7%)を中心に高齢層で高く、男性は30歳代(27.9%)を中心に若年層で高くなっている。20歳代はほとんどの項目で男女とも低い、「いずれにも参加していない」では女性が68.4%、男性が58.0%と他の年代と比べても高くなっている。

(図6-1-1)

図6-1-2 居住地域別 現在参加している地域活動



《ポイント》

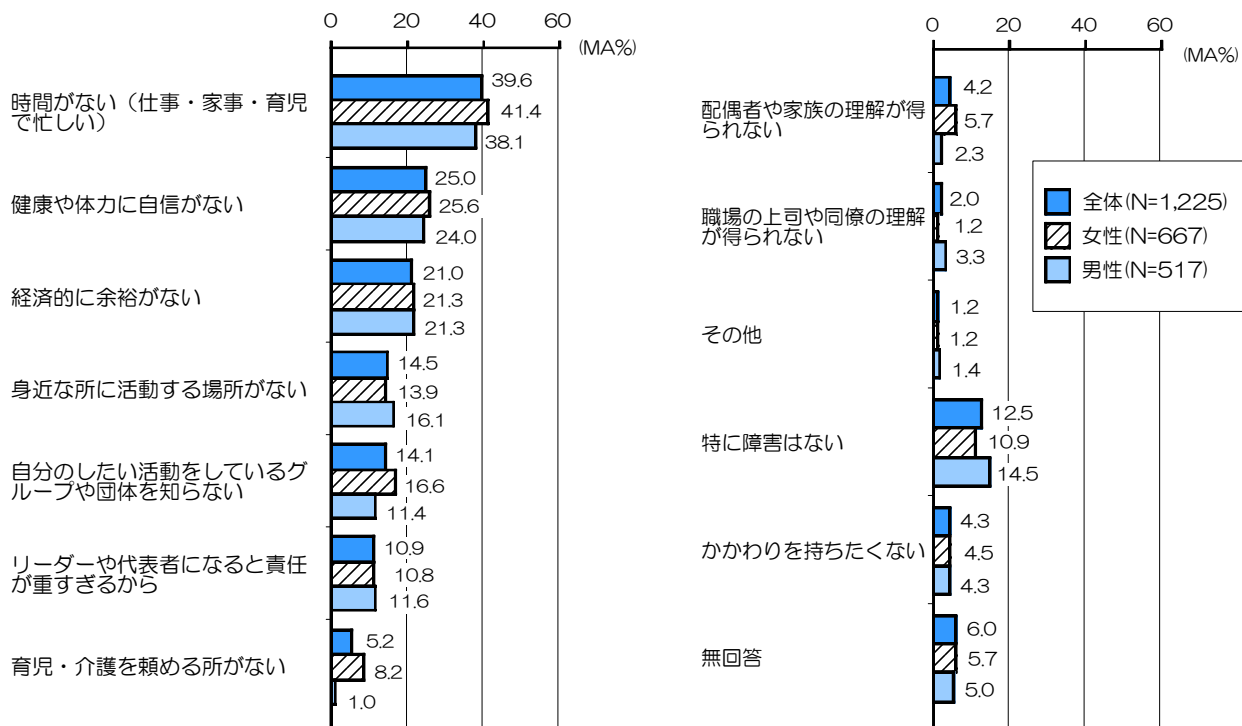
- 「町内会・自治会・PTA活動」は、女性では「橋本市・伊都郡」で、男性では「岩出市・紀の川市」で参加の割合が最も高くなっている。
- 「いずれにも参加していない」という人の割合は、女性では「有田市・有田郡」で、男性では「新宮市・東牟婁郡」で高いが、「和歌山市」は男女とも4割以上と高くなっている。

居住地域別にみると、「町内会・自治会・PTA活動」では、女性は「橋本市・伊都郡」(43.8%)、男性は「岩出市・紀の川市」(54.0%)で最も高くなっている。「海南市・紀美野町」は女性では「趣味・スポーツ・教養等のグループ活動」が37.0%、「町内会・自治会・PTA活動」が33.3%と3割を超えている。男性は「町内会・自治会・PTA活動」48.1%と最も高い。「御坊市・日高郡」は男女とも「町内会・自治会・PTA活動」が最も高いが、男性では「趣味・スポーツ・教養等のグループ活動」(25.0%)、「子ども会などの青少年育成活動」(18.2%)なども高くなっている。「いずれにも参加していない」は女性では「有田市・有田郡」(44.2%)、「和歌山市」(43.5%)などで、男性では「新宮市・東牟婁郡」(50.0%)、「和歌山市」(47.1%)などで高くなっている。(図6-1-2)

6-2 地域活動を行う上で、障害になると思うこと

問26 あなたが今後参加したい活動を行う上で、どのようなことが障害になるとお考えですか。
(あてはまるもの全てに○印)

図6-2 地域活動を行う上で、障害になると思うこと



《ポイント》

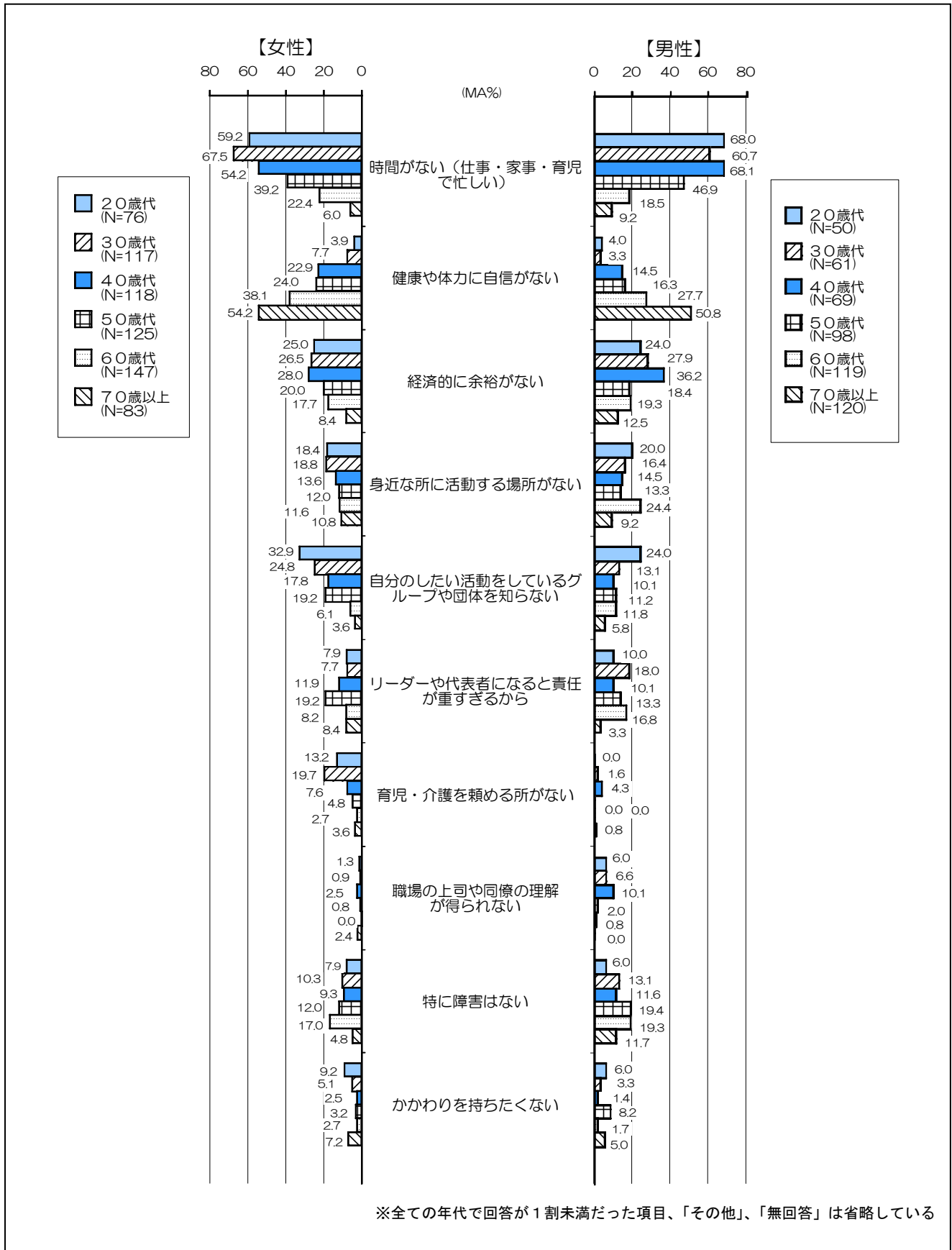
○男女とも「時間がない」という意見が多く、女性の方が若干割合は高い。

地域活動を行う上で、障害になると思うことについて、全体では、「時間がない (仕事・家事・育児で忙しい)」が 39.6%と最も高く、次いで、「健康や体力に自信がない」が 25.0%、「経済的に余裕がない」が 21.0%で、他の項目は 2 割未満となっている。

性別にみると、「自分のしたい活動をしているグループや団体を知らない」は 5.2 ポイント、「育児・介護を頼める所がない」では 7.2 ポイント女性が高く、「身近な所に活動する場所がない」では 2.2 ポイント男性が高くなっている。「特に障害はない」では 3.6 ポイント男性の方が高くなっている。

(図 6-2)

図6-2-1 性年齢別 地域活動を行う上で、障害になると思うこと

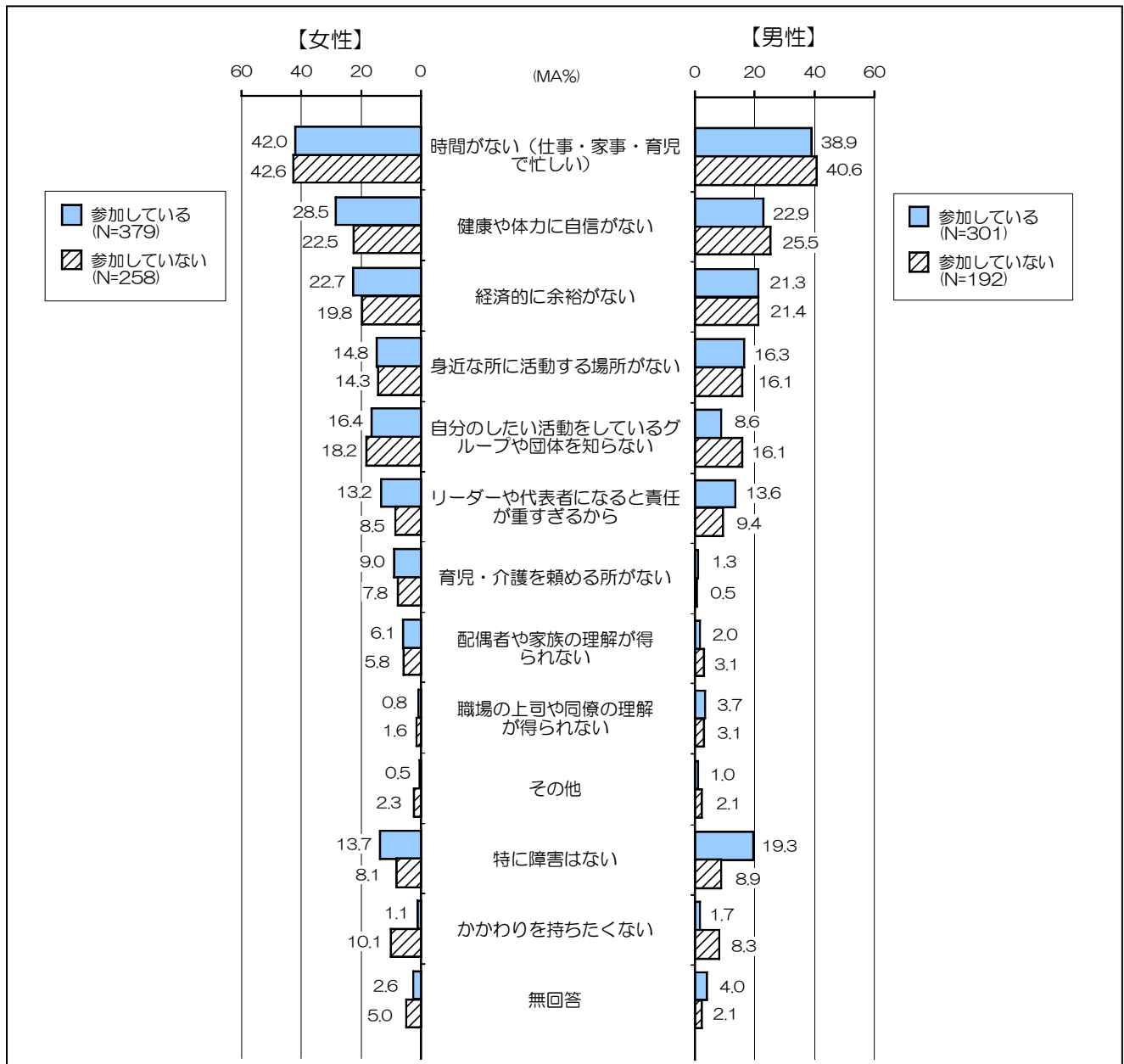


《ポイント》

○男女とも「時間がない」、「自分のしたい活動をしているグループや団体を知らない」という意見では若年層で割合が高く、「健康や体力に自信がない」では高年齢層で高い。

性年齢別にみると、「時間がない（仕事・家事・育児で忙しい）」、「自分のしたい活動をしているグループや団体を知らない」は男女とも20～40歳代で高く、50歳代以上の年代で低くなっている。逆に、「健康や体力に自信がない」では、男女とも年代が上がるほど割合は高くなる傾向にある。「経済的に余裕がない」では男性の40歳代で36.2%と最も高く、女性でも40歳代は28.0%と高い。（図6-2-1）

図6-2-2 地域活動参加の有無別 地域活動を行う上で、障害になると思うこと



《ポイント》

○「リーダーや代表者になると責任が重すぎるから」では、男女とも、地域活動に参加している人と参加していない人の差が大きい。

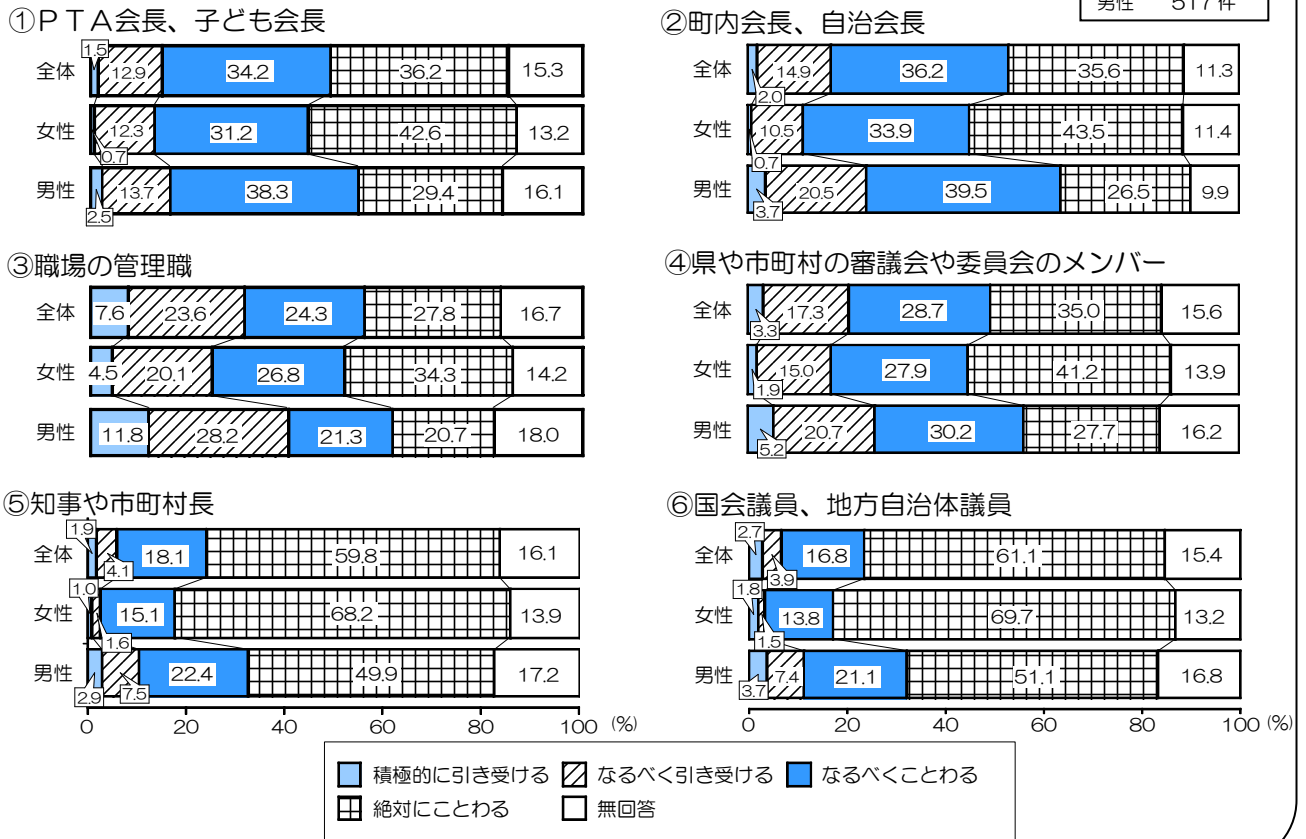
地域活動参加の有無別にみると、「健康や体力に自信がない」、「経済的に余裕がない」では女性は地域活動に参加している人の方が割合は高いが、男性では参加していない人の方が高い。「リーダーや代表者になると責任が重すぎるから」は、男女ともに参加している人の方が高くなっている。（図6-2-2）

6-3 役職、公職への就任意向

問27 仮に、あなたが今からあげるような役職、公職への就任や立候補を依頼された場合、どうしますか。(1つだけに○印)

図6-3 役職、公職への就任意向

全体 1,225件
女性 667件
男性 517件



《ポイント》

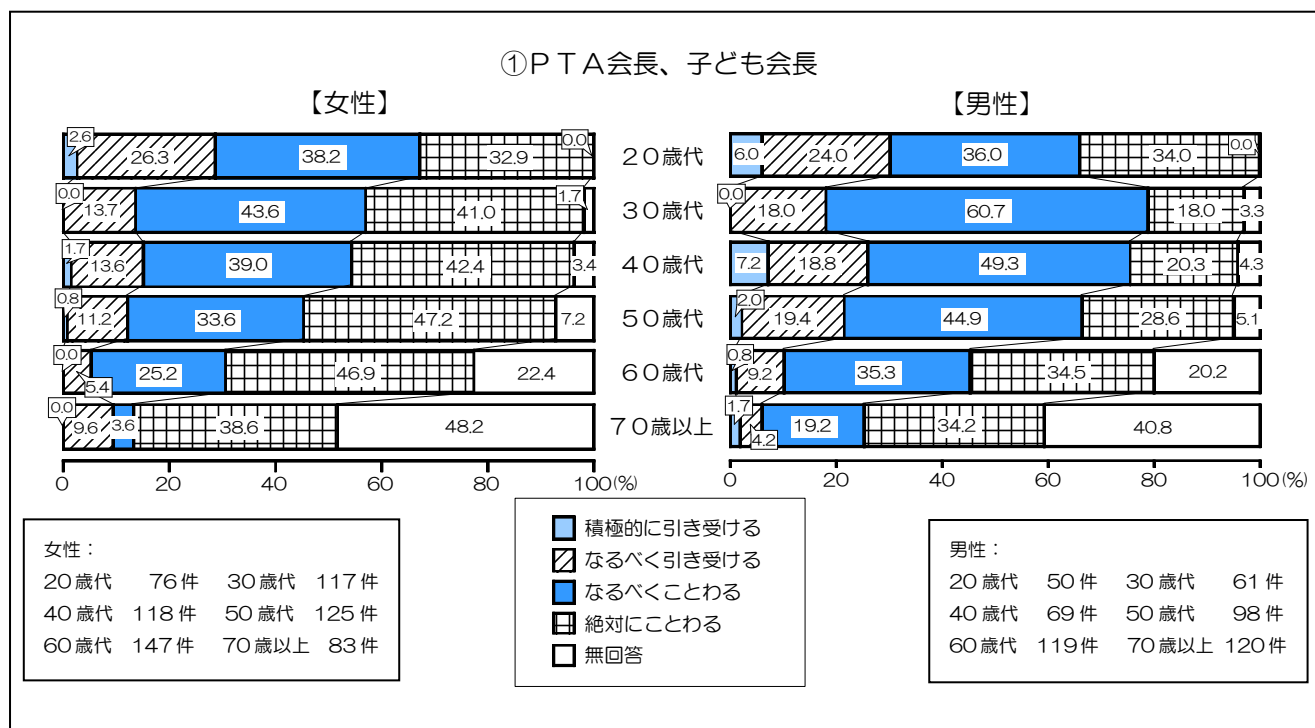
- 全ての項目で『ことわる』という回答が多く、特に、「知事や市町村長」、「国会議員、地方自治体議員」では約8割が『ことわる』と答えている。
- 『引き受ける』という人は、「職場の管理職」で比較的多く、男性で4割、女性で2割程となっている。
- 「PTA会長、子ども会長」や「町内会長、自治会長」では引き受けるという人の割合は、男女とも30歳代で若干少なく、「職場の管理職」では、女性は若年層ほど『引き受ける』という人が多い。

(図6-3-1)

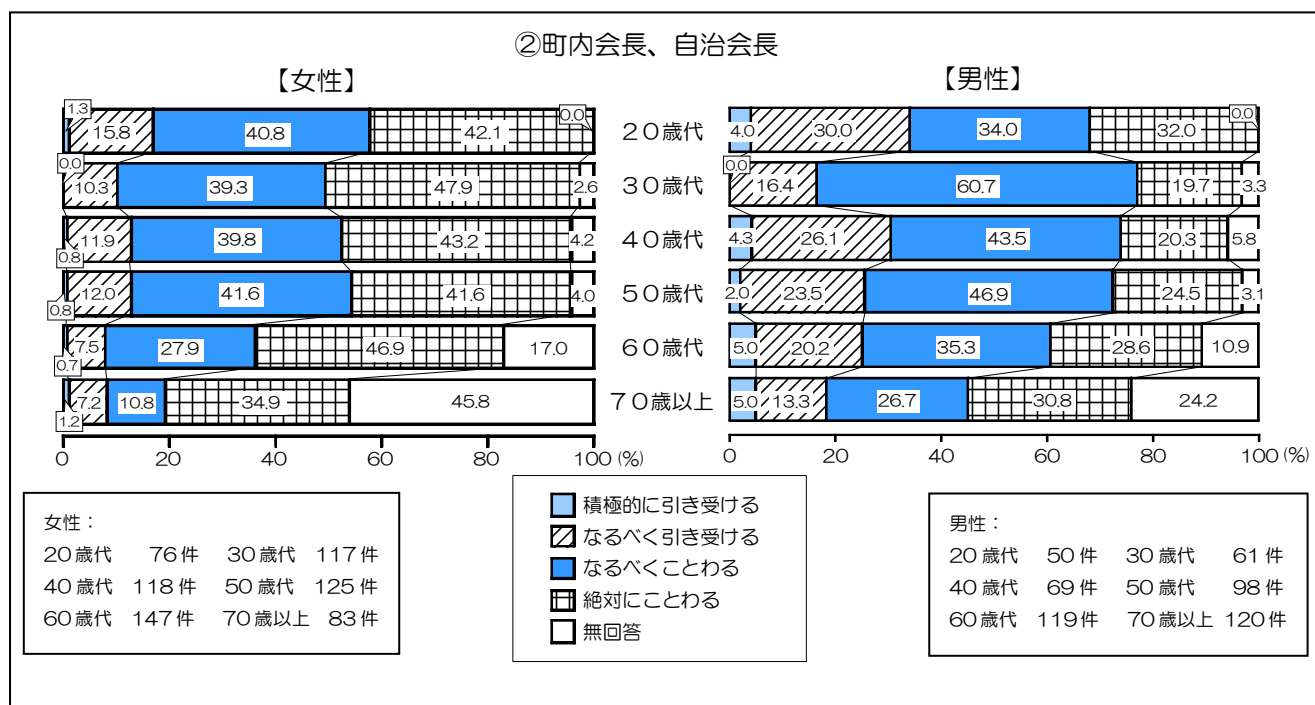
役職、公職への就任意向について、全体では『ことわる』（「なるべくことわる」と「絶対にことわる」を合わせたもの）の割合が高い役職は「⑤知事や市町村長」、「⑥国会議員、地方自治体議員」で77.9%と最も高く、次いで、「②町内会長、自治会長」が71.8%と高く、全ての項目で半数以上となっている。『引き受ける』（「積極的に引き受ける」と「なるべく引き受ける」を合わせたもの）の割合は「③職場の管理職」で31.2%と最も高く、次いで、「④県や市町村の審議会や委員会のメンバー」で20.6%となっている。

性別にみると、全ての項目で『引き受ける』は男性の方が高く、『ことわる』は女性の方が高くなっている。「⑤知事や市町村長」、「⑥国会議員、地方自治体議員」では女性の8割以上が『ことわる』と回答し、「③職場の管理職」では男性の4割が『引き受ける』と回答している。(図6-3)

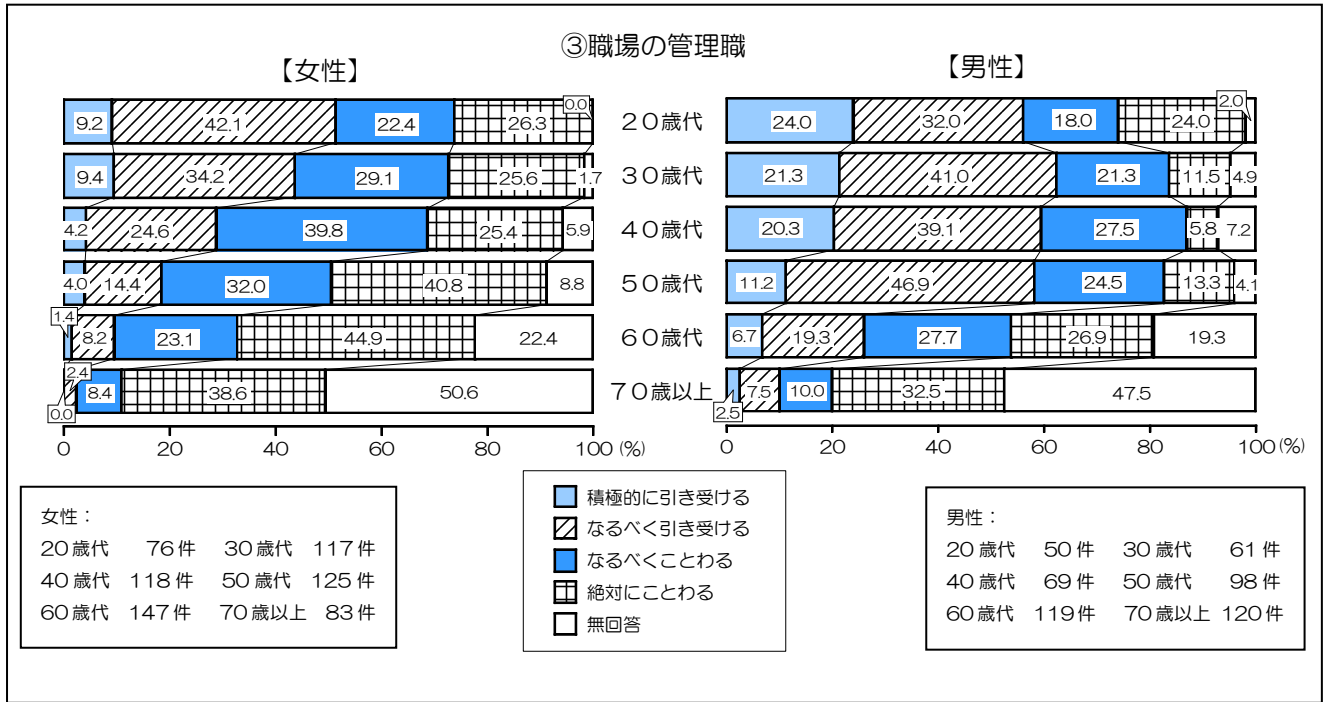
図6-3-1 性年齢別 役職、公職への就任意向



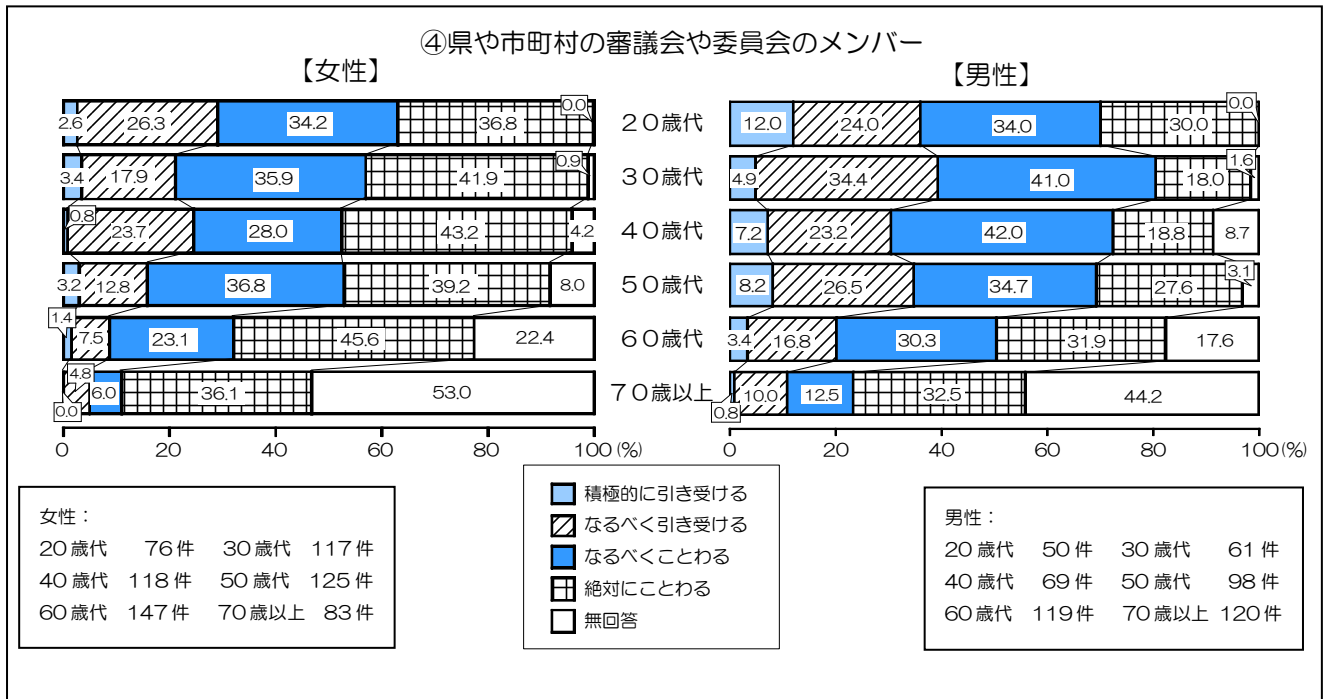
「①PTA会長、子ども会長」について、性年齢別にみると、『引き受ける』という人は、男女とも20歳代で高く、女性が28.9%、男性が30.0%となっており、年代が上がるほど割合は低くなる傾向にある。『ことわる』という人は男女とも30歳代で高く、女性は84.6%、男性は78.7%と高くなっている。



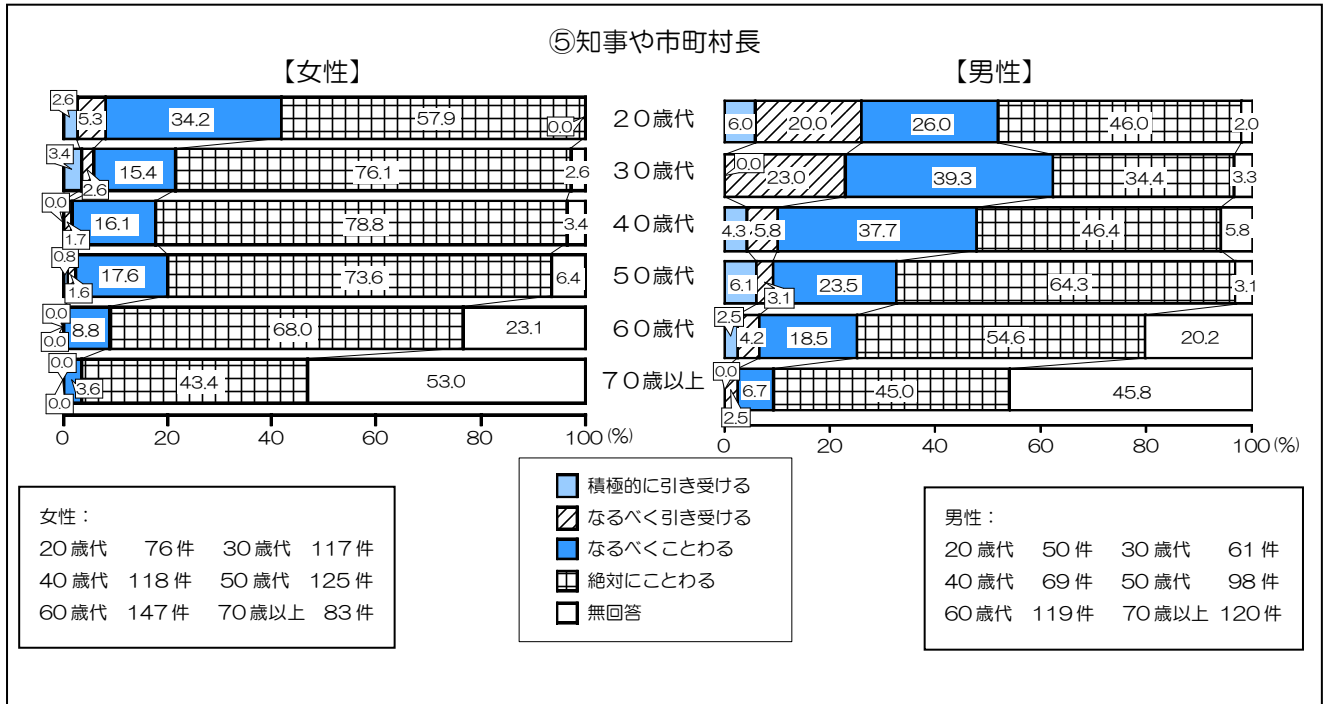
「②町内会長、自治会長」について、性年齢別にみると、『引き受ける』という人は、女性では20歳代で高く17.1%、男性では20歳代で34.0%、40歳代で30.4%と高くなっており、年代が上がるほど割合は低くなる傾向にある。『ことわる』という人は女性では20～50歳代で8割以上と高く、特に、30歳代では87.2%と最も高い。男性では30歳代で80.4%と最も高く、他の年代と比べても差は大きくなっている。



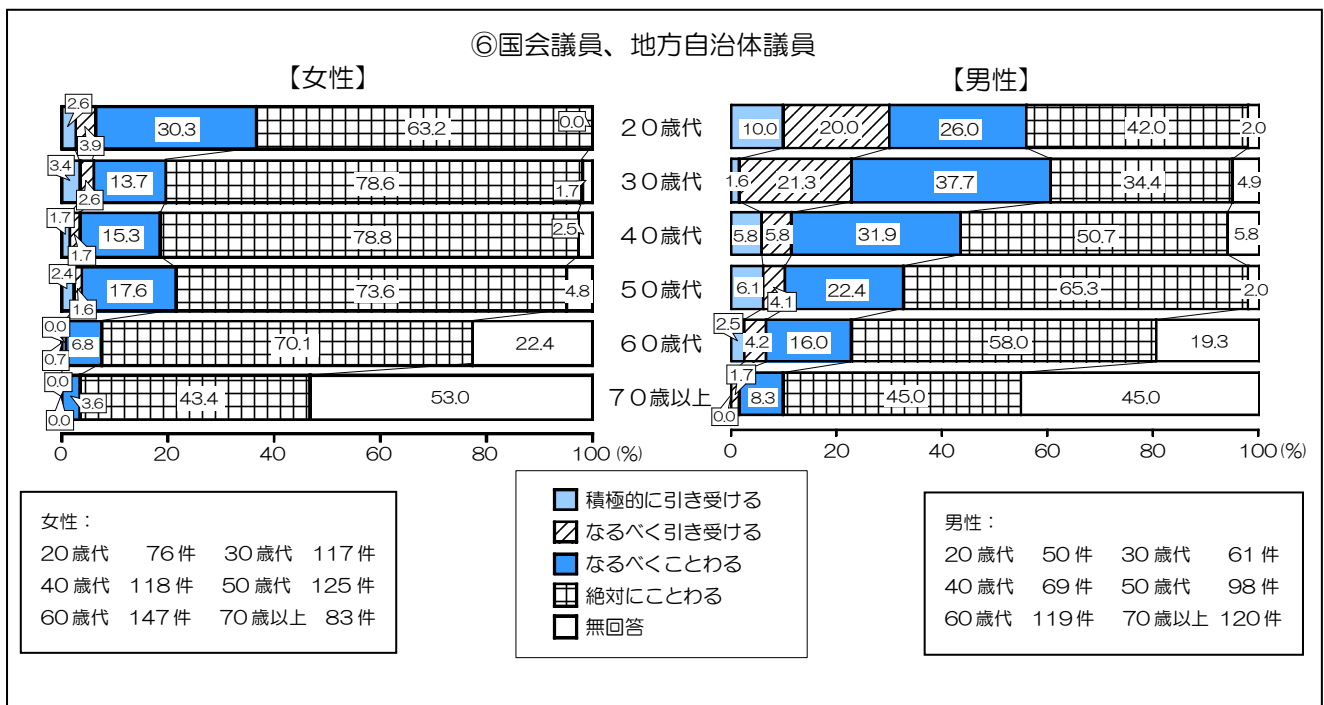
「③職場の管理職」について、性年齢別にみると、『引き受ける』という人は、女性では20歳代で51.3%と最も高く、年代が上がるほど割合は低くなり、70歳以上では2.4%となっている。男性では30歳代(62.3%)を中心に20～50歳代で5割以上となっている。「積極的に引き受ける」という人の割合は20歳代で最も高く、年代が上がるほど割合は低くなる。



「④県や市町村の審議会や委員会のメンバー」について、性年齢別にみると、『引き受ける』という人は、女性では20歳代で28.9%と最も高く、年代が上がるほど割合は低くなり、70歳以上では4.8%となっている。男性では30歳代(39.3%)を中心に20～50歳代で3割以上となっている。30歳代では、女性は、『引き受ける』が21.3%であるのに対し、男性では39.3%と高くなっている。

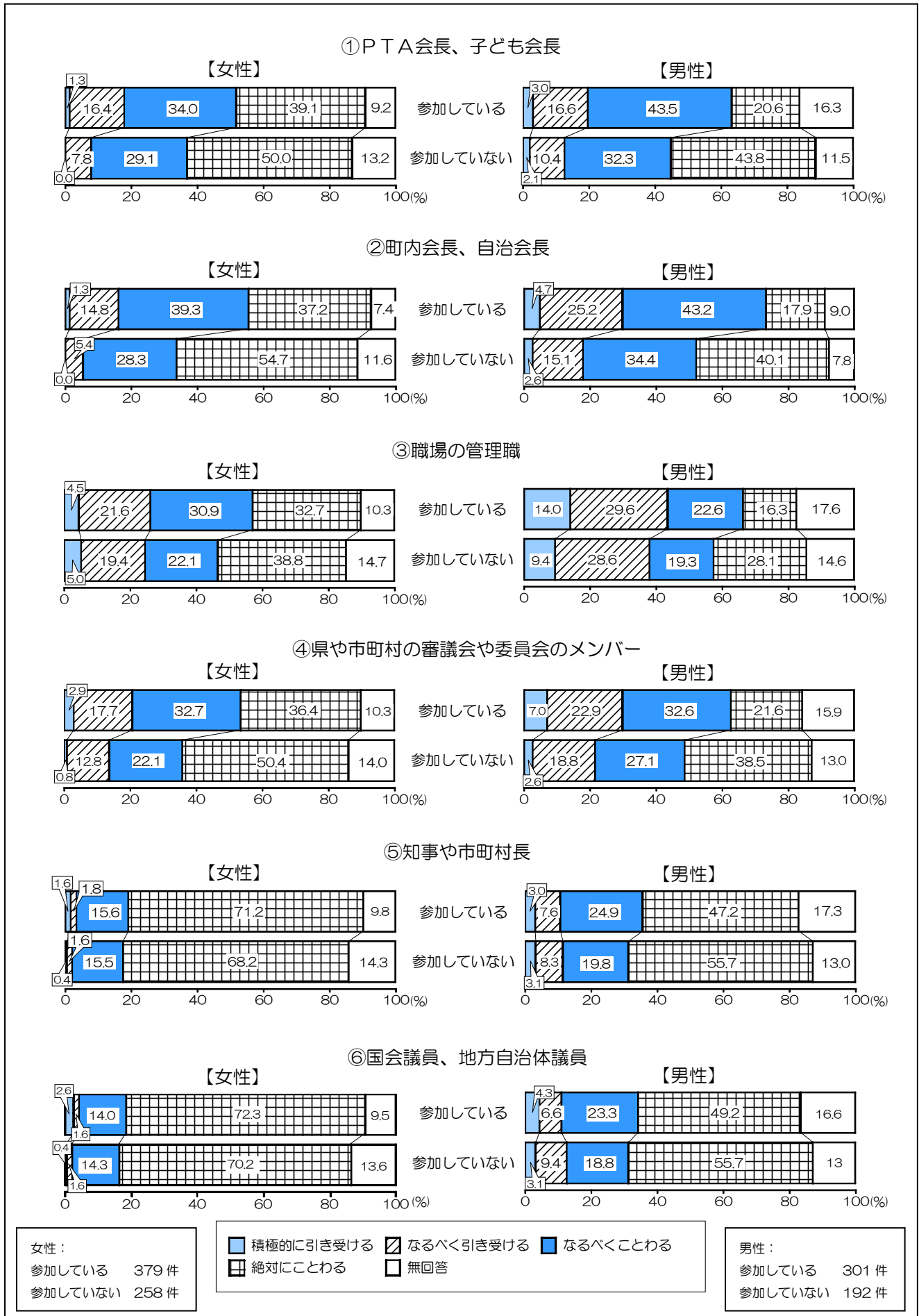


「⑤知事や市町村長」について、性年齢別にみると、『引き受ける』という人は、男性の20歳代で26.0%と最も高く、30歳代では23.0%と年代が上がるほど割合は低くなっている。女性では『ことわる』が50歳代以下の年代で9割以上となっている。



「⑥国会議員、地方自治体議員」について、性年齢別にみると、『引き受ける』という人は、男性の20歳代で30.0%と最も高く、30歳代では22.9%と年代が上がるほど割合は低くなっている。女性では『ことわる』が50歳代以下の年代で9割以上となっている。

図6-3-2 地域活動参加の有無別 役職、公職への就任意向



《ポイント》

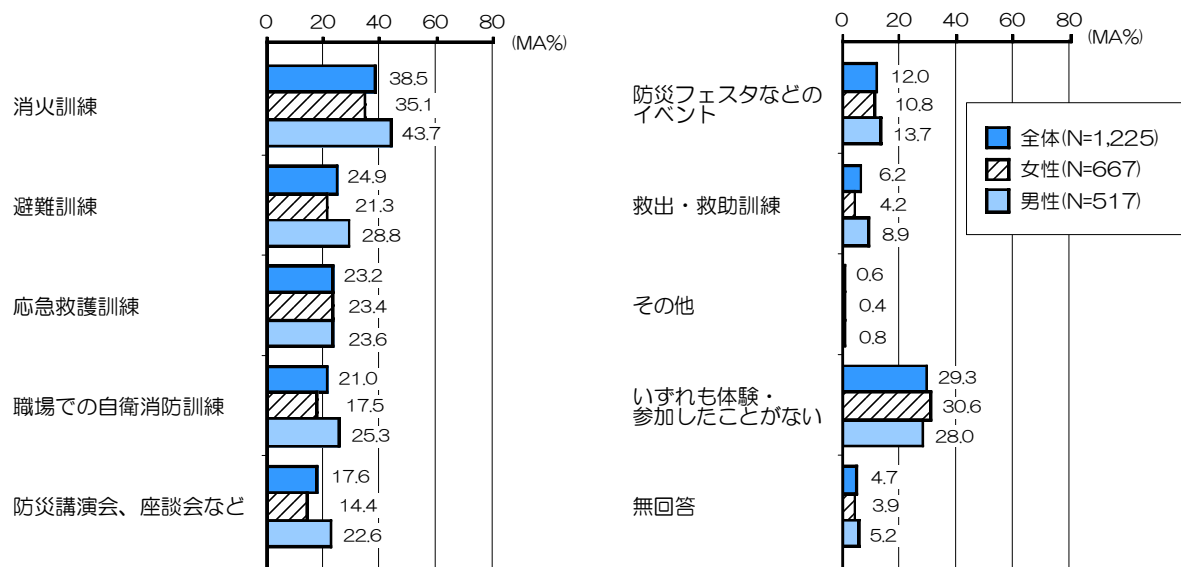
- 「PTA会長、子ども会長」や「町内会長、自治会長」、「審議会委員のメンバー」を引き受ける意向がある人の割合は、男女とも地域活動に参加している人の方が高い。
- 「知事や市町村長」、「国会議員、地方自治体議員」を引き受けるという人の割合は、地域活動の参加状況によって大きな差は見られないが、男性では参加していない人の方が「絶対にことわる」という割合が高い。

役職、公職への就任意向について、地域活動参加の有無別にみると、「①PTA会長、子ども会長」、「②町内会長、自治会長」、「③職場の管理職」、「④県や市町村の審議会や委員会のメンバー」では、『引き受ける』という人は、男女とも地域活動に参加している人の方が割合は高くなっている。『ことわる』という人は①～④で男女とも「絶対にことわる」という人が地域活動に参加していない人の方が高く、特に、「①PTA会長、子ども会長」では男性が23.2ポイント、「②町内会長、自治会長」では女性が17.5ポイント、男性が22.2ポイントと差が大きくなっている。「⑤知事や市町村長」、「⑥国会議員、地方自治体議員」では、女性で「絶対にことわる」という人が地域活動に参加している人の方が、若干高くなっている。(図6-3-2)

6-4 参加したことがある地域の防災活動

問28 あなたは次のような地域の防災に関する活動に参加したことがありますか。(あてはまるもの全てに○印)

図6-4 参加したことがある地域の防災活動



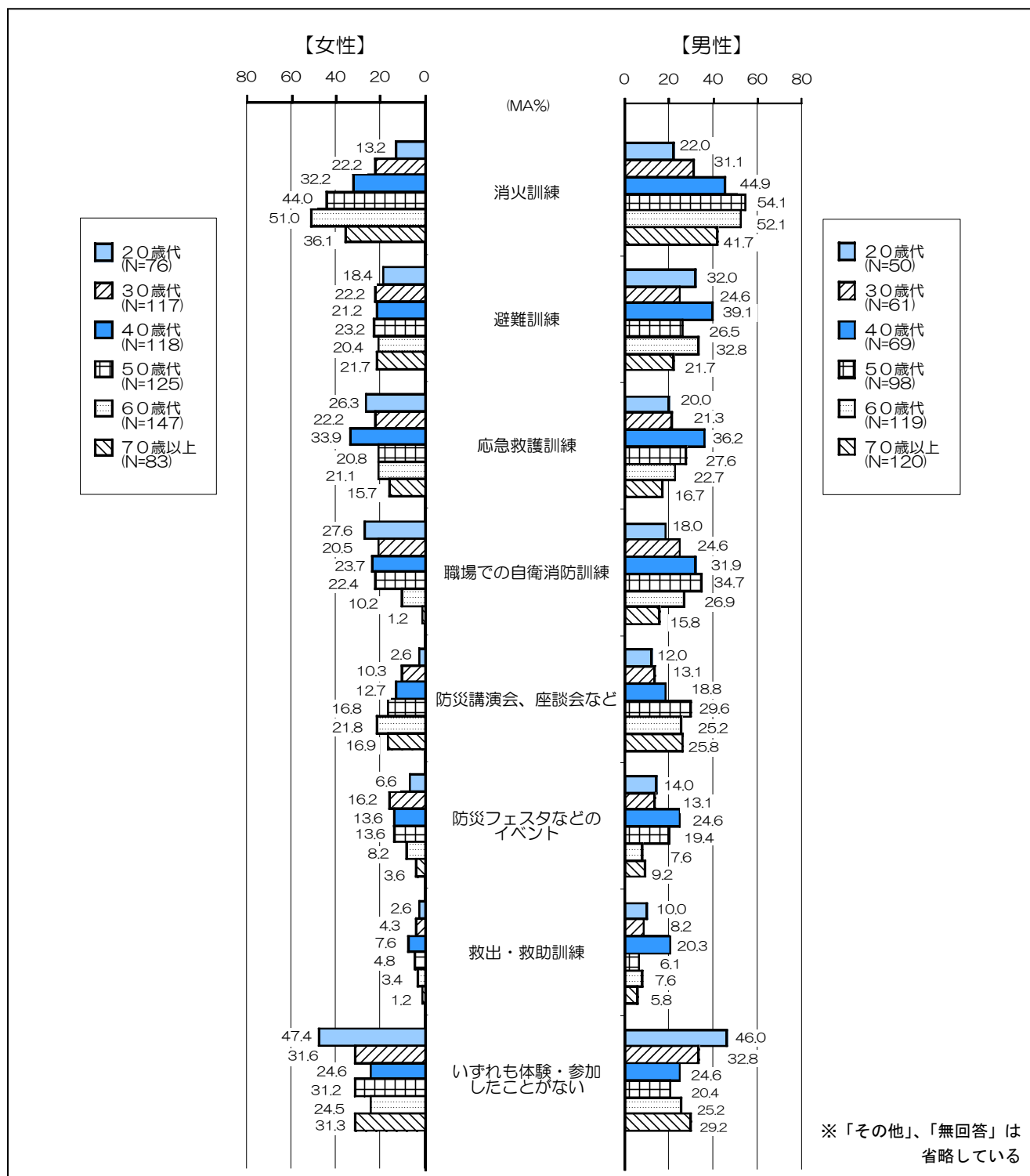
《ポイント》

- 「消火訓練」に参加したことがある人が約4割で最も多く、男性の方が割合は高い。
- 「いずれも体験・参加したことがない」という人は約3割で、女性の方が割合は高い。

参加したことがある地域の防災活動について、全体では「消火訓練」が38.5%と最も高く、次いで、「避難訓練」が24.9%、「応急救護訓練」が23.2%、「職場での自衛消防訓練」が21.0%となっており、それ以外の活動はいずれも2割未満となっている。「いずれも体験・参加したことがない」は29.3%となっている。

性別にみると、ほとんどの項目で男性の方が高く、「消火訓練」では8.6ポイント、「避難訓練」で7.5ポイント、「職場での自衛消防訓練」で7.8ポイントの男女差となっている。(図6-4)

図6-4-1 性年齢別 参加したことがある地域の防災活動

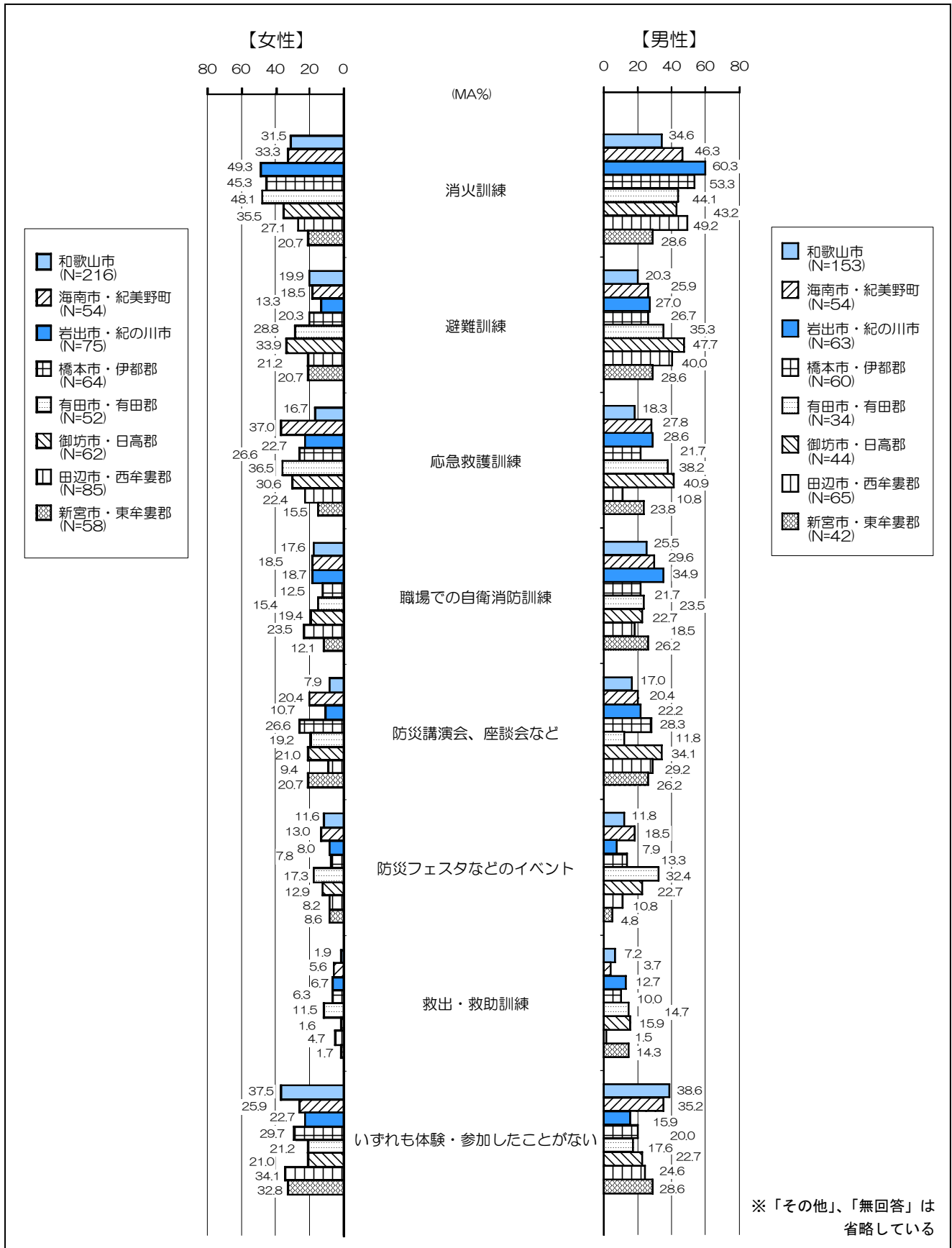


《ポイント》

- 「消火訓練」に参加したことがある人は、男女とも50～60歳代で高く、若年層になるほど減少している。
- 「いずれも体験・参加したことがない」という人は若年層ほど高く、20歳代では4割以上に上っている。

性年齢別にみると、「消火訓練」は男女とも70歳以上を除いて高齢層で高く、女性は60歳代で51.0%、男性は50歳代で54.1%と最も高くなっている。「応急救護訓練」は男女とも40歳代で最も高く3割を超えている。全体的に男性は40歳代で割合が高く、「いずれも体験・参加したことがない」は男女とも20歳代で4割を超えており、年代によって参加経験に差が見られる。(図6-4-1)

図6-4-2 居住地域別 参加したことがある地域の防災活動



《ポイント》

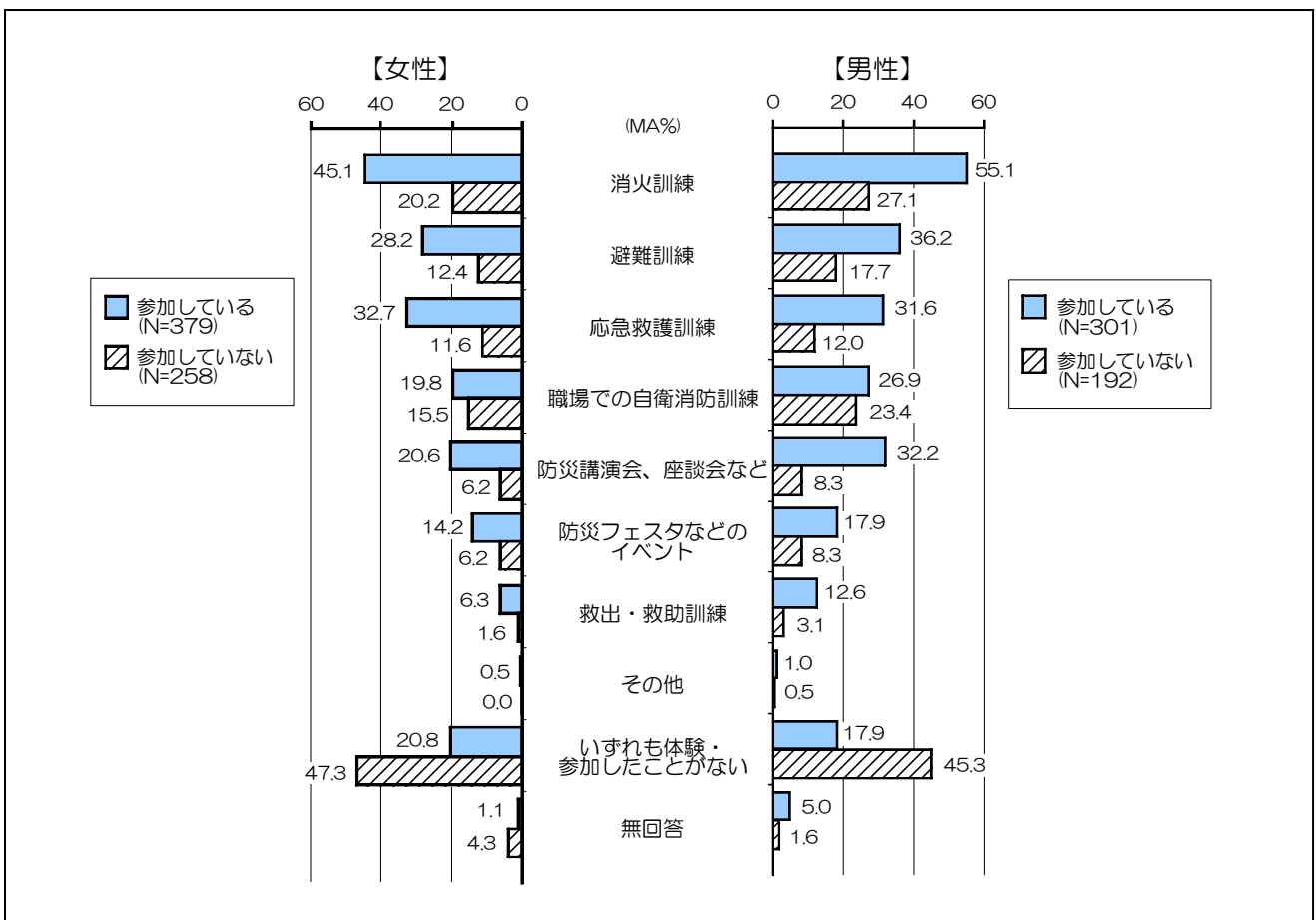
○「消火訓練」に参加したことがある人の割合は「岩出市・紀の川市」で、「避難訓練」に参加したことがある人の割合は「御坊市・日高郡」で男女とも最も高い。

○「いずれも体験・参加したことがない」という人の割合は男女とも「和歌山市」で最も高い。

居住地域別にみると、「消火訓練」に参加したことがある人の割合は、男女とも「岩出市・紀の川市」が他の地域と比べ、最も高くなっている。「避難訓練」では男女とも「御坊市・日高郡」が最も高く、「防災フェスタなどのイベント」では男女とも「有田市・有田郡」が最も高くなっている。「いずれも体験・参加したことがない」人の割合は男女とも「和歌山市」が他の地域と比べ、最も高くなっている。

(図6-4-2)

図6-4-3 地域活動参加の有無別 参加したことがある地域の防災活動



《ポイント》

○地域活動に参加している人は、防災活動にも参加している傾向が強い。

○地域活動の参加状況で差がある防災活動は「消火訓練」で、女性では24.9ポイント、男性では28.0ポイント地域活動に参加しているの方が高い。

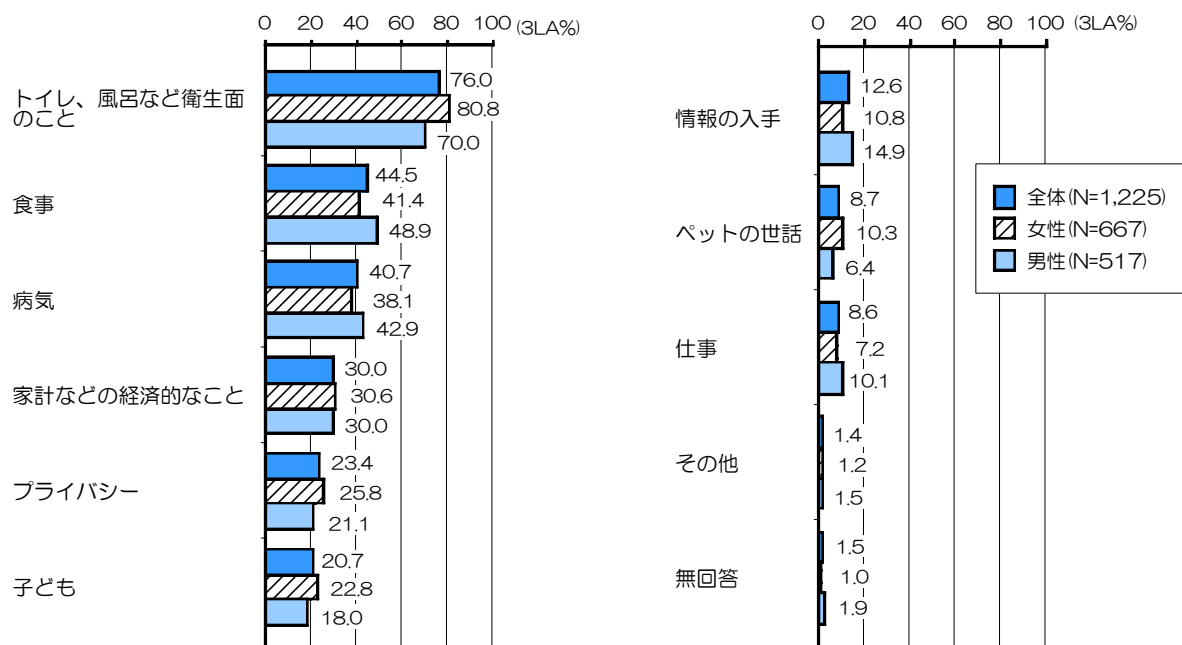
地域活動参加の有無別にみると、全ての項目で、地域活動に参加しているの方が割合は高く、「消火訓練」では女性が24.9ポイント、男性が28.0ポイントの差となっている。女性では、他に「応急救護訓練」で差が大きく21.1ポイント、男性では、「防災講演会、座談会など」で23.9ポイントになっている。

(図6-4-3)

6-5 避難生活時に気がかりに思うこと

問29 あなたが避難生活をしなければならなくなったとき、気がかりに思うことは何ですか。
(3つまでに○印)

図6-5 避難生活時に気がかりに思うこと



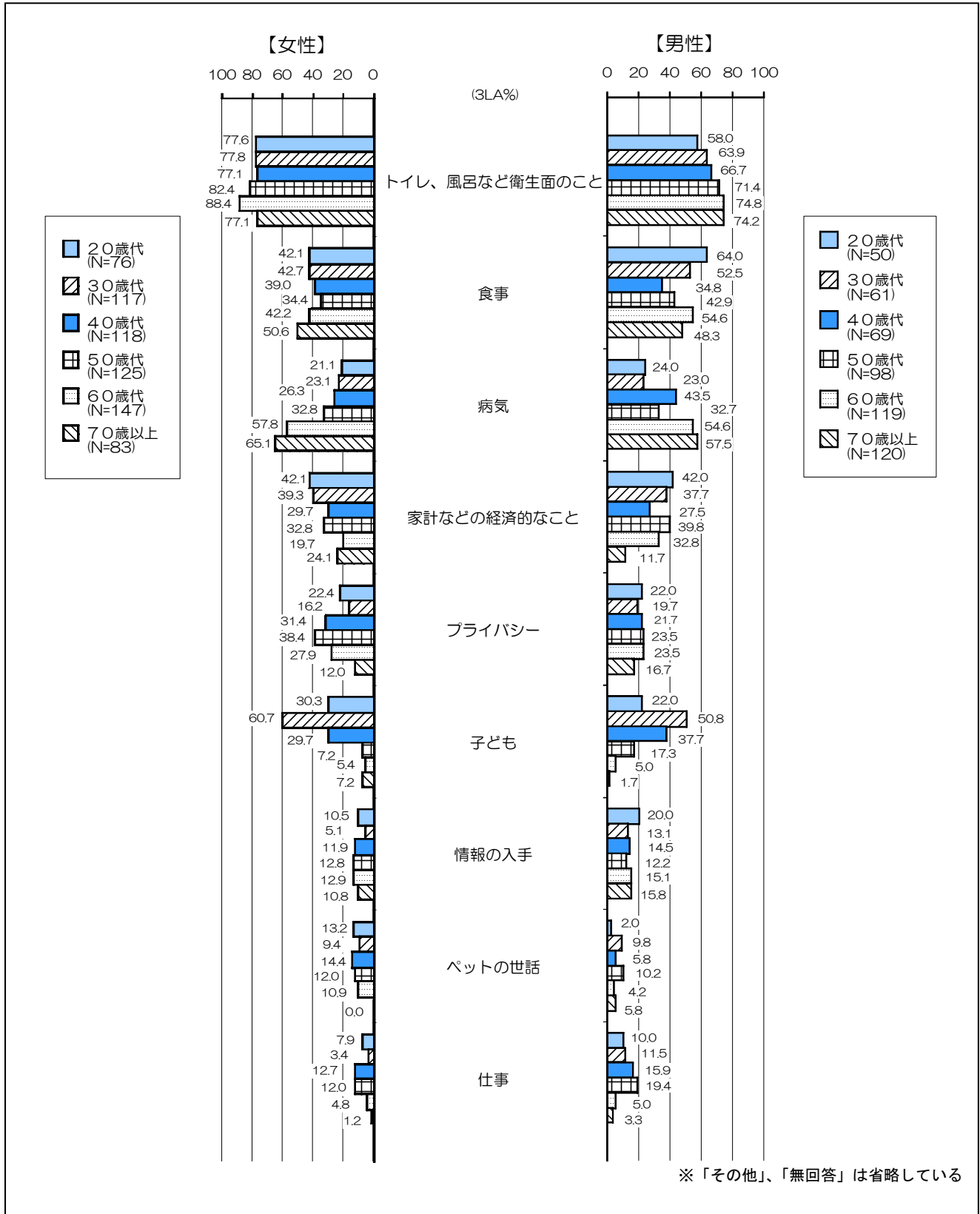
《ポイント》

- 「トイレ・風呂など衛生面」を気がかりに思うと回答した人の割合が最も高く、女性は8割、男性でも7割を占める。
- 「食事」、「病気」などを気がかりに思うと回答した人の割合は男性の方が高い。
- 「プライバシー」や「子ども」、「ペットの世話」などを気がかりに思うと回答した人の割合は女性の方が高い。

避難生活時に気がかりに思うことについて、全体では、「トイレ、風呂など衛生面のこと」が76.0%で最も高く、次いで、「食事」が44.5%、「病気」が40.7%となっている。

性別にみると、「トイレ、風呂など衛生面のこと」では女性が10.8ポイント高く、「食事」では男性が7.5ポイント高くなっている。(図6-5)

図6-5-1 性年齢別 避難生活時に気がかりに思うこと



《ポイント》

- 「トイレ・風呂など衛生面のこと」を気がかりに思う人は男女とも高年齢層ほど多い傾向にある。
- 気がかりに思うことのうち男女とも「病気」は70歳以上で、「子ども」は30歳代で最も割合が高い。

性年齢別にみると、「トイレ、風呂など衛生面のこと」では男女とも年代が上がるほど割合は高く、女性の50～60歳代では8割を超えている。「食事」は男性は若年層で高く、20歳代で64.0%、女性は高齢層で高く、70歳以上で50.6%となっている。「病気」は男女とも年代が上がるほど割合は高く、「子ども」は男女とも30歳代で最も高くなっている。「プライバシー」は女性の50歳代で38.4%と最も高い。

(図6-5-1)

図6-5-2 居住地域別 避難生活時に気がかりに思うこと

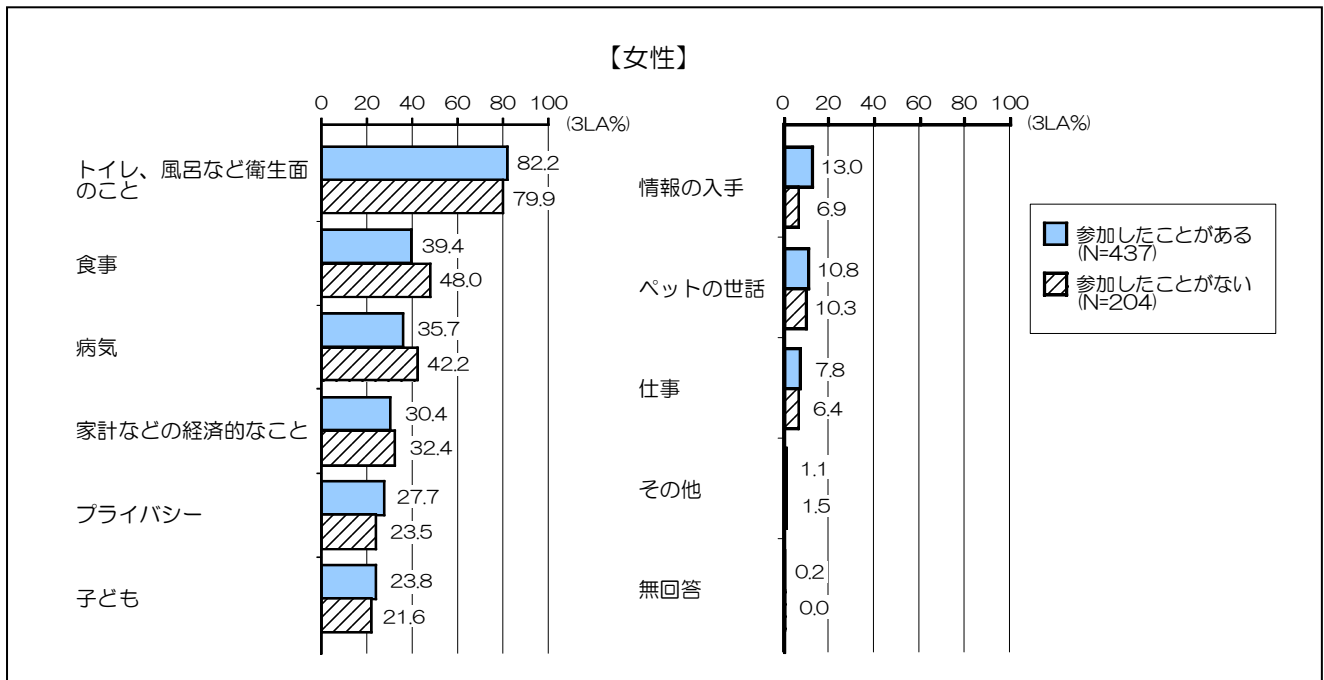
	全体	トイレ、風呂など衛生面のこと	食事	子ども	仕事	プライバシー	病気	ペットの世話	家計などの経済的なこと	情報の入手	その他	(3LA%) 無回答
女性												
和歌山市	216	81.5	43.5	25.9	6.0	22.7	38.9	11.6	28.7	13.0	1.4	1.4
海南市・紀美野町	54	81.5	51.9	20.4	3.7	29.6	37.0	9.3	40.7	5.6	1.9	0.0
岩出市・紀の川市	75	82.7	34.7	13.3	8.0	33.3	40.0	17.3	40.0	5.3	0.0	0.0
橋本市・伊都郡	64	81.3	43.8	18.8	6.3	29.7	32.8	6.3	29.7	9.4	0.0	3.1
有田市・有田郡	52	80.8	50.0	19.2	9.6	19.2	40.4	3.8	26.9	11.5	1.9	0.0
御坊市・日高郡	62	90.3	30.6	22.6	1.6	25.8	40.3	8.1	24.2	14.5	1.6	0.0
田辺市・西牟婁郡	85	75.3	44.7	30.6	14.1	22.4	37.6	12.9	29.4	8.2	1.2	1.2
新宮市・東牟婁郡	58	72.4	29.3	20.7	8.6	31.0	34.5	6.9	29.3	15.5	1.7	1.7
男性												
和歌山市	153	74.5	43.1	16.3	7.8	19.0	47.1	5.9	30.1	15.0	0.7	0.7
海南市・紀美野町	54	72.2	57.4	18.5	9.3	35.2	44.4	5.6	22.2	7.4	1.9	0.0
岩出市・紀の川市	63	66.7	49.2	23.8	7.9	17.5	41.3	12.7	38.1	11.1	0.0	4.8
橋本市・伊都郡	60	65.0	45.0	18.3	13.3	15.0	40.0	3.3	35.0	28.3	1.7	3.3
有田市・有田郡	34	55.9	50.0	29.4	8.8	32.4	38.2	2.9	32.4	23.5	5.9	0.0
御坊市・日高郡	44	68.2	52.3	15.9	20.5	25.0	40.9	9.1	22.7	11.4	2.3	0.0
田辺市・西牟婁郡	65	72.3	58.5	15.4	10.8	12.3	41.5	3.1	29.2	12.3	3.1	1.5
新宮市・東牟婁郡	42	73.8	42.9	11.9	7.1	26.2	42.9	9.5	26.2	11.9	0.0	7.1

《ポイント》

○「トイレ・風呂など衛生面のこと」について気がかりに思う人の割合が男女とも全地域で最も高い。

居住地域別にみると、「トイレ、風呂など衛生面のこと」では、男女とも全地域で最も割合は高くなっている。多くの地域で男女とも2番目に「食事」をあげているが、「病気」をあげている地域が、女性では「岩出市・紀の川市」、「御坊市・日高郡」、「新宮市・東牟婁郡」、男性では「和歌山市」と「新宮市・東牟婁郡」となっている。(図6-5-2)

図6-5-3 防災活動参加経験の有無別 避難生活時に気がかりに思うこと（女性のみ）



《ポイント》

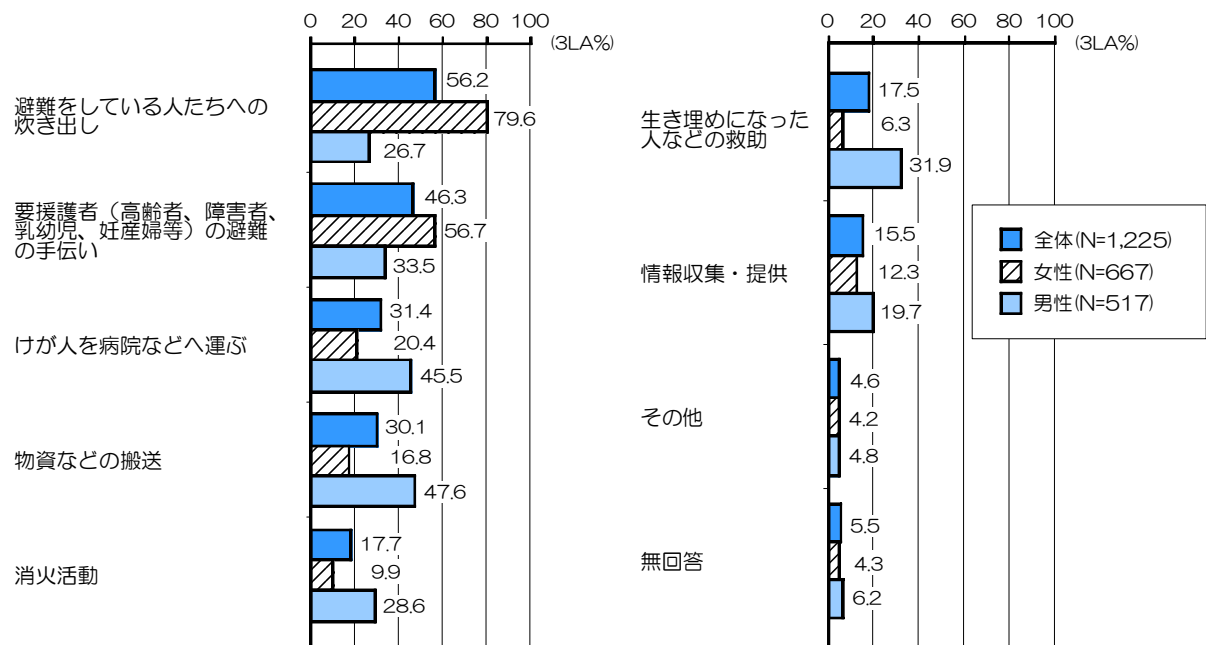
- 「トイレ・風呂など衛生面」については防災活動経験者の方が、「食事」や「病気」では防災活動未経験者の方が気がかりに思う割合は高い。

女性の防災活動参加経験の有無別にみると、「食事」、「病気」では参加したことがないという人の方が若干高くなっている。「トイレ、風呂など衛生面のこと」では、防災活動に参加したことがある人の方が避難時に気がかりに思う割合が高い。(図6-5-3)

6-6 実際の災害時にできると思うこと

問30 実際の災害時に、あなたができると思うことはどのようなことですか。(3つまでに○印)

図6-6 実際の災害時にできると思うこと



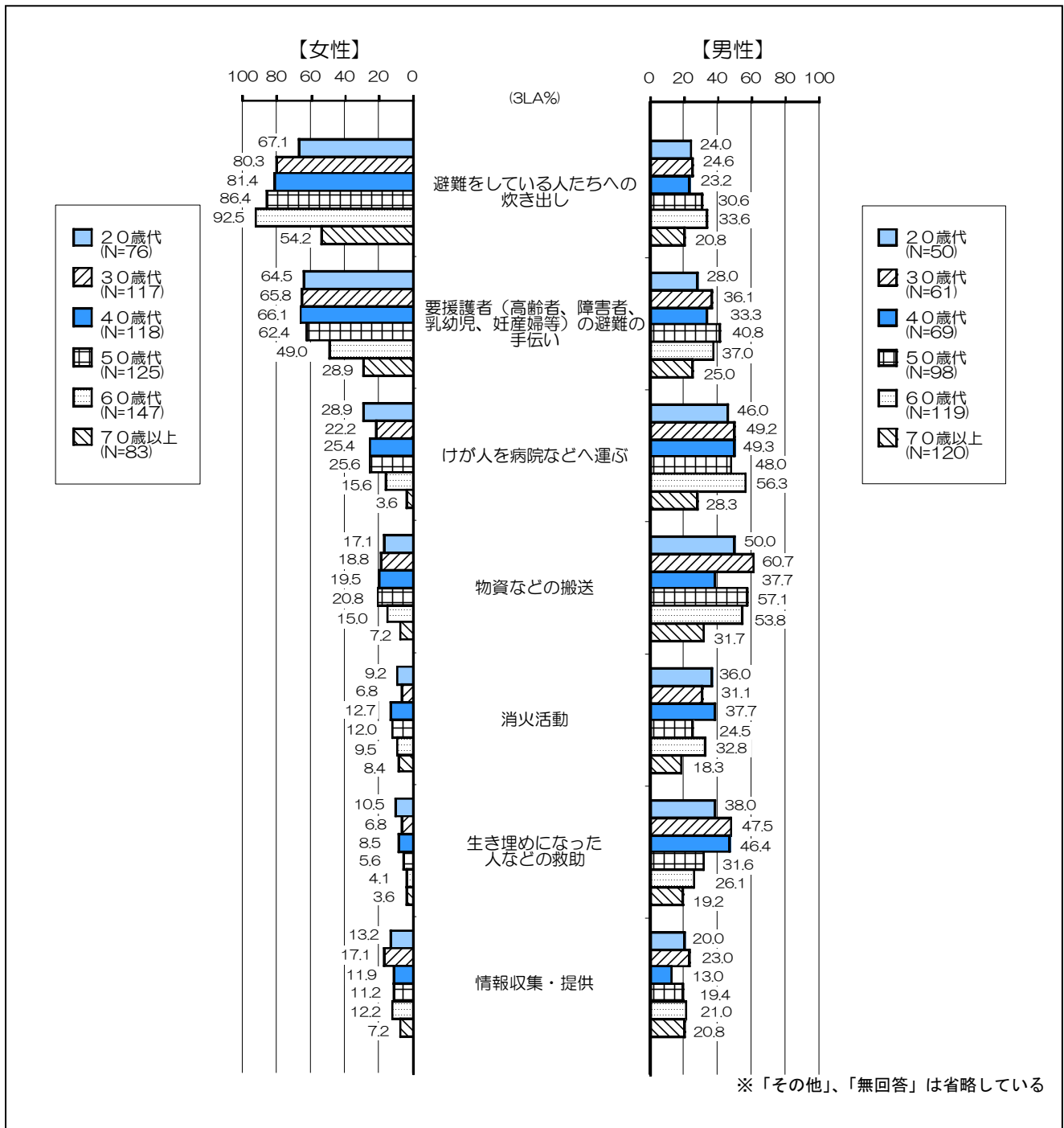
《ポイント》

- 「避難をしている人たちへの炊き出し」と回答した人が最も多く、女性は約8割を占めている。
- 「避難をしている人たちへの炊き出し」、「要援護者の避難の手伝い」を除いた項目では、男性の方が割合は高くなっている。

実際の災害時にできると思うことについて、全体では「避難をしている人たちへの炊き出し」が56.2%と最も高く、次いで、「要援護者(高齢者、障害者、乳幼児、妊産婦等)の避難の手伝い」が46.3%、「けが人を病院などへ運ぶ」が31.4%となっている。

性別にみると、女性ができることとして、「避難をしている人たちへの炊き出し」で79.6%、「要援護者(高齢者、障害者、乳幼児、妊産婦等)の避難の手伝い」で56.7%となっている。逆に、男性ができることとして、「物資などの搬送」で47.6%、「けが人を病院などへ運ぶ」で45.5%、「生き埋めになった人などの救助」で31.9%、「消火活動」で28.6%となっており、いずれも男女差は大きい。(図6-6)

図6-6-1 性年齢別 実際の災害時にできると思うこと



《ポイント》

- 「避難をしている人たちへの炊き出し」は女性の30～60歳代で高く、「要援護者の避難の手伝い」は女性の20～50歳代で高い。
- 「けが人を病院などへ運ぶ」は男性の60歳代で、「生き埋めになった人などの救助」や「物資などの搬送」は、男性の30歳代で最も高い。

性年齢別にみると、「避難をしている人たちへの炊き出し」は女性では年代が上がるほど、割合は高くなり60歳代では92.5%となっている。逆に、「要援護者（高齢者、障害者、乳幼児、妊産婦等）の避難の手伝い」は女性の50歳代以下の年代で6割以上となっている。男性は「けが人を病院などへ運ぶ」は60歳代で56.3%、逆に、「生き埋めになった人などの救助」は30～40歳代で高く、4割以上となっている。

(図6-6-1)

図6-6-2 居住地域別 実際の災害時にできると思うこと

	全体	炊き出し 避難をしている人 たちへの	生き埋めにな った人などの 救助	けが人を病院な どへ運ぶ	物資などの搬送	情報収集・提供	要援護者（高齢者、 障害者、乳幼児、妊産婦等） の 避難の手伝い	消火活動	その他	(3LA%)	
										無回答	
女性											
和歌山市	216	79.6	6.9	22.2	16.2	10.2	57.9	8.8	4.6	4.2	
海南市・紀美野町	54	81.5	9.3	22.2	16.7	13.0	57.4	13.0	1.9	5.6	
岩出市・紀の川市	75	84.0	2.7	20.0	16.0	13.3	52.0	6.7	5.3	2.7	
橋本市・伊都郡	64	79.7	14.1	21.9	9.4	18.8	57.8	7.8	6.3	3.1	
有田市・有田郡	52	82.7	3.8	13.5	11.5	9.6	59.6	17.3	7.7	5.8	
御坊市・日高郡	62	79.0	3.2	16.1	17.7	6.5	59.7	16.1	3.2	4.8	
田辺市・西牟婁郡	85	72.9	3.5	23.5	18.8	15.3	50.6	7.1	3.5	5.9	
新宮市・東牟婁郡	58	79.3	6.9	15.5	29.3	13.8	60.3	8.6	0.0	3.4	
男性											
和歌山市	153	30.1	24.8	43.1	45.8	24.8	26.8	21.6	6.5	7.8	
海南市・紀美野町	54	18.5	37.0	55.6	48.1	24.1	38.9	27.8	1.9	0.0	
岩出市・紀の川市	63	28.6	33.3	49.2	46.0	9.5	34.9	38.1	4.8	7.9	
橋本市・伊都郡	60	23.3	28.3	43.3	50.0	20.0	28.3	38.3	6.7	6.7	
有田市・有田郡	34	8.8	44.1	52.9	52.9	17.6	20.6	50.0	2.9	5.9	
御坊市・日高郡	44	18.2	25.0	43.2	50.0	25.0	45.5	22.7	6.8	6.8	
田辺市・西牟婁郡	65	40.0	43.1	43.1	47.7	10.8	41.5	29.2	3.1	3.1	
新宮市・東牟婁郡	42	31.0	35.7	40.5	45.2	21.4	42.9	16.7	2.4	7.1	

《ポイント》

- 「避難をしている人たちへの炊き出し」は全地域で女性の割合が最も高い。
- 男性は、「けが人を病院などへ運ぶ」が「海南市・紀美野町」、「岩出市・紀の川市」、「有田市・有田郡」で割合が最も高く、「有田市・有田郡」を含めたその他の地域では「物資などの搬送」が最も高い。

居住地域別にみると、女性では、「避難をしている人たちへの炊き出し」は全地域で最も高く、「要援護者（高齢者、障害者、乳幼児、妊産婦等）の避難の手伝い」も全地域で2番目に高い。男性では「海南市・紀美野町」、「岩出市・紀の川市」を除く地域で「物資などの搬送」が最も高くなっている。「海南市・紀美野町」、「岩出市・紀の川市」、「有田市・有田郡」では「けが人を病院などへ運ぶ」が最も高い。その他に、「有田市・有田郡」では「消火活動」が半数、「御坊市・日高郡」、「田辺・西牟婁郡」、「新宮市・東牟婁郡」では「要援護者（高齢者、障害者、乳幼児、妊産婦等）の避難の手伝い」が4割以上と他地域に比べ高くなっている。(図6-6-2)